

## 第74回関東東海花の展覧会で本県産花きをPR

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2026年1月30日（金）から2月1日（日）にかけて、サンシャインシティ文化会館（東京都豊島区東池袋）で「第74回関東東海花の展覧会」（主催：本県含む1都11県、一般社団法人日本花き生産協会など花き関係5団体）が開催されました。

## 1 概要

本展覧会は、花に対する理解促進と消費拡大を図り、花き産業の健全な発展に寄与することを目的とした日本最大規模の花の展覧会です。開催前日の29日（木）には花の品評会とフラワーデザインコンテストが行われました。また、30日（金）には開場式で、主催県である栃木県の福田知事が「本展覧会を通じて多くの人々の花に対する関心を高め、花のある暮らしの輪がさらに大きく広がることを期待しています。」と挨拶しました。会期中は、栃木県による花の装飾展示や品評会出品物の展示、産地紹介コーナーなどが一般公開され、多くの来場者でにぎわいました。

## 2 品評会審査結果

品評会では、本県を含む1都11県の生産者から切り花や鉢物など合計1,450点が出品されました。本県からは179点が出品され、68点が受賞しました。その内、農林水産大臣賞や農林水産省農政局長賞などの特別賞は22点でした。会場では、カーネーションや、きくなど各部門に分けて展示され、特別賞を集めた展示コーナーも設置されました。



輪ぎく      アルストロメリア      カラテア  
農林水産大臣賞を受賞した本県出品物

フラワーデザインコンテストでは76点が出品され、本県からの作品1点がブライダルブーケ部門で特別賞を受賞しました。

## 3 産地紹介コーナーにおける本県の展示

本県は生産量日本一を誇る洋らんをテーマに、大小様々なコショウラン、カトレア、シンビジウム、デンドロビウムを展示しました。また、展示台にモニターを設置して愛知県花き温室園芸組合洋らん部会が作成したPR動画を放映し、洋らの魅力や栽培の様子を紹介しました。

首都圏の一般来場者の目に触れる本展覧会は、多くの出品物や産地紹介コーナーを通じて、本県の花きの魅力を伝える機会になっていました。



洋らんを紹介(愛知)